

2025 前期トレセンスタッフ研修会 報告書

報告者：ユース育成部長 杉山 貴昭

【日 程】：2025 年 2 月 23 日（日）

【場 所】：（講義）長良川スポーツプラザ （実技）岐阜メモリアルセンター補助競技場

【参加者】：地区ダイレクター・県/地区トレセンチーフコーチ

県トレセン GK コーチ・地区 GK コーチ

【講 師】：松永 英機 氏 【技術委員長/FA コーチ】

馬淵 圭太 氏 【シニアチューター/GK チューター】

【内 容】

1) 講義 1：G-ACTION 2030 の振り返り(ユースダイレクター：杉山)

G-ACTION 2030 の作成経緯や概要が説明され、岐阜県が目指すべき方向性が改めて確認されました。ユース育成においては、2030 年までにアンダーカテゴリー日本代表選手を 1 名輩出することを目標に掲げています。

後半では、各地区に分かれてワークショップを実施し、これまでの成果と課題を共有しました。その上で、次年度に向けた取り組み宣言 を決定しました。

「指導者が変われば、選手が変わる。」

G-ACTION 2030 の理念を大切にしながら、

トレセンスタッフとして指導者自身が常に学び続け、チャレンジを重ねることの重要性が強く語られました。



2) 講義②：FA コーチから見た岐阜県の現状 (FA コーチ：松永)

FA コーチからは各地区のトレセン現場を巡回し、その中で見えてきた課題を共有しました。特に、指導者自身の成長が選手の育成に直結することを踏まえ、IDP（個人育成計画）や個人アクションプランの活用を提案しました。当日は、指導者が自身のアクションプラン作成に取り組み、今後の指導の方向性を明確にしました。継続的な学びと実践を重ねることで、指導の質を向上させ、より良い

育成環境の構築を目指していきます。



3) 講義③：GK(GP)について（シニアチューター：馬淵）

現代サッカーにおける GK (GP) の役割の変化について説明がありました。かつての「ゴールを守る存在」から、「ゴールを守る+ゴール前のスペースを管理し、攻撃の起点となる存在」へと進化している点が強調されました。また、GK(GP)コーチの分析の観点について実践的な学びがあり、GK(GP)コーチとフィールドプレイヤーの指導者が共通認識

を持つことの必要性について言及されました。GK(GP)がチームの一員として機能するためには、GK(GP)コーチだけでなく、フィールドプレイヤーの指導者もGK(GP)の役割を理解し、トレーニングに組み込むことが不可欠です。本研修を通じて、指導者同士が連携し、より質の高いトレーニングを実現するためのアプローチを学ぶ貴重な機会となりました。

4) 講義④：「GK(GP)を含めたビルドアップ」(研修会担当：吉田)

今年度のトレセン活動では、テーマとして GK (GP) を含めたビルドアップを取り上げて活動してきました。岐阜県として一貫した指導を行うため、選考基準に関する提案や、トレーニングにおける留意すべきポイントについて説明がありました。また、GK (GP) を含めたビルドアップにおける G-ACTION 2030 との関

連性についても説明され、指導者間での共有が図られました。

今後は、数値的なデータを基に分析を行い、成果の検証を進めていくことが確認されました。これにより、トレーニングの効果を客観的に評価し、指導方法の改善に繋げていく方針です。

5) 実技：指導実践「GK(GP)を含めたビルドアップ」

各地区チーフコーチによる指導実践が行われました。コーチや GK(GP)コーチとリレーションを行い、各地区1年間取り組んできた成果を交流しました。実践後



6) 参加者感想

- ・ G-ACTION についての取り組みを地区ごとに整理し、自分の地区での課題や自分自身の課題が明確になりました。
- ・ GK(GP)についての講義がとても参考になりました。GK 視点での具体的な話が新鮮で、もっと詳しく知りたいと思いました。また、GK コーチライセンスにも挑戦したくなりました。
- ・ FC 岐阜のスタッフの方が参加してくれることはすごくよいことかと思えます。FC 岐阜のトップ、セカンド、ユース…がどの様な TR をしているかなどの情報も入れてもらいながら TC 活動にプラスされていくともっと強化につながる感じました。
- ・ 県全体でさらに高みを目指して取り組まれていることを実感し、日々のトレーニングや学びを個人として質の高いものにしていかなければならない危機感を感じました。サッカーを通して、岐阜県の子どもたちの健全な育成につながるよう努力していきたいと感じました。
- ・ 各地区の指導実践を見させていただき、指導者のリレーションの大切さや選手に対してどんなキーワードを使い分かりやすく伝えるか、言葉の大切さを感じた。
- ・ 今後とも岐阜県全体が良くなる為に改めて頑張っていこうと前向きな気持ちになる事ができました。

総勢 70 名ほどの指導者が参加され、講義から実技まで終日にわたって学びの多い研修となりました。講師の皆様、参加していただいた皆様ありがとうございました。

今後も私たち指導者自身が学び続け、岐阜県サッカーを盛り上げていきましょう。

